



4・5月号

発行所 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内 公益財団法人茨城県消防協会 編集発行人 消防協会長 葉梨 衛 印刷所 (有)堀口印刷 1部 15円 (購読料は負担金に含まれています)

# 令和元年度 第一回定時理事会の開催

令和元年度公益財団法人茨城県消防協会第一回定時理事会が五月八日(水)に茨城県立健康プラザにおいて開催されました。理事数は、会議定足数の確認(理事数二十九名のところ出席者二十五名で、半数を超え会議が成立)が行われ、その後、葉梨会長から主催者の挨拶を頂きました。ご臨席頂いたご来賓は次の方々です。

- ・ 県消防安全課長 宗像 達夫 様
  - ・ 県立消防学校副校長 瀬谷 茂樹 様
- 続いて議事は、葉梨会長が議長となり、議案が審議され、それぞれ原案どおり承認・可決されました。

## 【第一回定時理事会議案】

- 第一号議案 平成三十年事業報告
- 第二号議案 平成三十年度会計決算
- 第三号議案 評議員会の招集

なお、定時理事会終了後に、平成三十年度中に退団となられた消防団長に対し、感謝状が表示された記念楯が贈呈されました。

表彰された前消防団長の皆様方には、長い間本当にありがとうございました。改めまして感謝の意を表します。



退職消防団長へ感謝状贈呈

# 令和元年 春の叙勲・褒章

令和元年春の叙勲・褒章受章者が五月二十一日(火)に総務省から発令されました。本県からは、春の叙勲が十一名、第二次回危険業務従事者叙勲が十八名、藍綬褒章が二名、合計三十一名の皆様が受章の栄に浴されました。

勲記・勲章は、五月二十三日(木)、県庁において大井川知事から伝達されました。国(総務省消防庁)の伝達式は、春の叙勲が五月二十四日(金)、ニッショーホール(危険業務従事者叙勲が五月三十一日(金)霞が関の合同庁舎第三号館)、春の褒章が五月三十日(木)「スクワール麹町」においてそれぞれ実施され、同日の午後には、皇居拝謁も執り行われました。

受章者の皆様の永年にわたるご尽力とご功績に対し、心からの感謝と敬意を表します。

以下、順不同にて受章者の略歴並びに国の伝達式の様子を、紹介します。

※(一)は発令日現在の年齢

## 《春の叙勲》

### 【瑞宝双光章】

- 今橋 松男(七十二) 元 日立市消防団 団長 消防歴 五十年九月 日立市在住
- 作山 吉平(六十五) 元 高萩市消防団 団長 消防歴 四十三年 高萩市在住

### 【瑞宝単光章】

- 池羽 節夫(六十五) 元 筑西市消防団 副団長 消防歴 三十九年 筑西市在住
- 鹿島 音二郎(七十四) 元 那珂市消防団 分団長 消防歴 四十三年 那珂市在住
- 米川 幸雄(七十六) 元 阿見町消防団 団長 消防歴 五十三年 阿見町在住

- 川崎 弘一(七十一) 元 常陸太田市消防団 副団長 消防歴 四十二年七月 常陸太田市在住
- 齊藤 幸男(六十八) 元 筑西市消防団 副団長 消防歴 四十四年 筑西市在住

- 塩澤 泉(六十九) 元 常陸大宮市消防団 副団長 消防歴 四十一年一月 常陸大宮市在住
- 中山 理(八十三) 元 水海道市消防団 分団長 消防歴 三十七年一月 常総市在住
- 橋本 裕(六十八) 元 日立市消防団 副団長 消防歴 三十七年 日立市在住

- 弓野 忠男(七十九) 元 日立市消防団 副分団長 消防歴 五十六年七月半 日立市在住



春の叙勲伝達式(ニッショーホール)

《第三十二回》

危険業務従事者叙勲

【瑞宝双光章】

- 青野 稔(六十七) 元 鹿島地方 消防司令長 消防歴 四十二年 鹿嶋市在住
- 大部 秀雄(七十一) 元 日立市 消防司令長 消防歴 四十二年 日立市在住
- 木村 好一(六十五) 元 取手市 消防司令長 消防歴 四十一年五月 取手市在住
- 高山 昇二(六十五) 元 稲敷広域 消防監 消防歴 四十二年 河内町在住
- 戸井崎 寛一(六十六) 元 取手市 消防司令長 消防歴 四十二年 取手市在住
- 外川 耕造(七十) 元 鹿島南部 消防監 消防歴 三十八年 神栖市在住
- 永沼 正好(六十五) 元 石岡市 消防司令長 消防歴 四十二年 石岡市在住
- 白田 清(六十五) 元 土浦市 消防監 消防歴 三十七年 石岡市在住
- 古川 稔(六十五) 元 大洗町 消防司令長 消防歴 四十年 那珂市在住

- 宮本 滋美(六十九) 元 稲敷広域 消防監 消防歴 三十八年 稲敷市在住
- 吉武 正守(六十六) 元 日立市 消防監 消防歴 四十二年 日立市在住
- 渡邊 一夫(七十二) 元 ひたちなか市 消防監 消防歴 三十八年 ひたちなか市在住

【瑞宝単光章】

- 大野 清一(六十五) 元 稲敷広域 消防司令長 消防歴 四十二年 河内町在住
- 栗山 泰明(六十八) 元 稲敷広域 消防司令 消防歴 四十一年 牛久市在住
- 信田 與四郎(七十三) 元 鹿島南部 消防司令長 消防歴 三十年四月 銚子市在住



危険業務従事者叙勲伝達式(合同庁舎第二号館)

- 鈴木 健男(六十五) 元 水戸市 消防司令長 消防歴 四十二年 水戸市在住
- 富永 一(七十一) 元 水戸市 消防司令長 消防歴 三十九年十一月 城里町在住
- 豊崎 盛夫(六十五) 元 かずみがうら市 消防司令長 消防歴 四十二年

《藍綬褒章》

- 加藤 正則(六十五) 現 境町消防団 団長 消防歴 三十一年一月 境町在住
- 仲川 紀男(六十一) 現 阿見町消防団 団長 消防歴 三十八年一月 阿見町在住



藍綬褒章伝達式(スクワール翹町)

県立消防学校

初任科入校式

今年度の消防職員初任教育は昨年度に引き続き二期制となり、まず前期の第一期入校式が、四月九日(火)午前十時から県立消防学校において、県内二十一消防本部から総勢百六名の学生を迎え挙行されました。

式典は、入校生紹介、学生宣誓に続き、式辞(長岡学校長)、知事告辞(宗像消防安全課長)、続いて県消防協会長(大高専務理事)、消防長会(澁谷副会長)の来賓祝辞がありました。



学生宣誓

今後、消防学校において、心身の鍛錬と消防職員として必要な知識・技能を習得し、半年後には、新時代にふさわしい消防の担い手として巣立っていくことを祈念します。

日本消防協会主催

消防団幹部候補中央特別研修

日本消防協会主催による第十八回消防団幹部候補中央特別研修が、つくば市、かすみがうら市及び潮来市の消防団員が参加し次の日程で実施されました。

○男性消防団員の部

平成三十一年一月三十日(水)～二月一日(金) (二泊三日)

(参加者)

つくば市消防団 班 長 飯泉 一茂

つくば市消防団 団 員 河村 聡志

かすみがうら市消防団 副分団長 貝塚 康博

○女性消防団員の部

平成三十一年二月十三日(水)～十五日(金) (二泊三日)

(参加者)

潮来市消防団 団 員 兼平 亜由美

潮来市消防団 団 員 石橋 成穂

今回の研修に本県から参加された方々を代表して、男性消防団員の部の貝塚康博さんと女性消防団員の部の兼平亜由美さんからの寄稿文をご紹介します。

「第十八回消防団幹部候補中央特別研修」に参加して

かすみがうら市消防団

副分団長 貝塚 康博

平成三十一年一月三十日から二月一日までの三日間、公益財団法人日本消防協会主催の「第十八回消防団幹部候補中央特別研修」が東京都港区虎ノ門、公益財団法人日本消防協会において開催されました。

私は、全国から百四十一名が参加する消防団幹部候補中央特別研修に男性消防団の部として参加させて頂きました。

参加に当たりご尽力くださいました関係者の皆様に対し深く感謝とお礼を申し上げます。

初日の研修では、開講式から始まり、

総代、班長への辞令交付が行われ、日本消防協会秋本会長から、「変化のなか、さらなる充実発展をめざす日本消防」についての講話がありました。

災害・事故の様相の変化、社会経済の変化、科学技術の進歩、さらに消防に求められる活動の変化など、消防を取り巻く環境の変化が顕著であり、それに対する消防の対応が課題ということを確認することが出来ました。

また、初日の研修後の意見交換会では、皆さんリラックスしたムードの中、全国各地でご活躍されている消防団員の方々と接し、それぞれの活動や、災害対応の姿勢など、他県の消防団員とふれあい貴重な時間を過ごすことができたと思います。

二日目、三日目の研修は、講義と課題

討議が行われました。講義では、講師の方々から、過去の災害状況や防災における消防団の活動事例、地域防災力の充実強化、多様化する防災への対応、消防団の充実強化のポイント、団員確保など様々な内容について講義を受けることが出来ました。

に参加できる特別出場隊の導入を進めていくことも大切なことではないだろうかと考えました。

最後に、今回の研修に参加して、消防団活動に対する思いがより一層強くなりました。そして、この貴重な経験を生かし今後の消防団活動に役立てていきたいと思えます。

「第十八回消防団幹部候補中央特別研修」に参加して

潮来市消防団

団 員 兼平 亜由美

私の班では、「サラリーマン化が進む中での効果的な活動方策」について討議しました。消防団員のサラリーマン化が進む中、平日の日に火災等の出勤ができない現状は、就業中であることや、市外の企業へ勤務している場合に出勤時間がかかるなど、問題は様々であります。

平成三十一年二月十三日から十五日までの三日間、日本消防協会主催で開かれた「第十八回消防団幹部候補中央特別研修」に参加させていただきました。

対策としては、行政が、就業中であっても災害時には消防団活動を優先できる事業所等の消防団協力事業所の拡充など、消防団員が在籍する企業の理解と協力体制の構築が必要であると考えました。

潮来市女性消防団は発足してまだ三年弱であり、団歴の浅い私がこの研修に参加することに対して不安を感じておりました。しかし、全国から一〇〇名近く集まった団員の方々の中にも、同じ様な団歴・同年代の方もいらしたので、不安は次第に和らぎ受講することができました。

また、全国的に消防団員の減少が問題視される中、消防団が有事の際、迅速に出勤できるような環境づくりを行うため、機能別団員の導入や地元外での消防活動

開講式後、日本消防協会の秋本敏文会長の講話を拝聴し、近年の自然災害における「地域防災力」の重要性を学びました。有事の際には常備消防・消防団だけでなく、地域の自主防災組織との協力が不可欠であり、連携体制を強化することが必要だと痛感しました。

各地でご活躍されている消防団員の方々と接し、それぞれの活動や、災害対応の姿勢など、他県の消防団員とふれあい貴重な時間を過ごすことができたと思

二日目は本所防災館の視察があり、起震車や火災時の避難体験、また、近年増えている水害時の体験も行いました。

身が上手に動かないこともあり、実際の災害時に、正しい判断・選択をす

体験だとわかっていても、恐ろしく思い



かすみがうら市消防団の貝塚さん



潮来市消防団の兼平さん

るには、日頃から訓練や防災対策への準備が大切だと思いました。

各講師の講義は、防災減災対策、アメリカでの危機管理、女性消防団員の活動と課題、災害時の避難所運営についてなど、どれも興味深いもので、受講中に気付けられることが多くありました。

国士館大学の山崎登氏の講義では災害情報の生かし方について、考えさせられるものがありました。災害情報が寄せられても「自分は大丈夫、まだ平気だ」と思い込み、人は簡単に逃げないということ。災害情報への正しい知識を持つことが、防災や減災へ繋がることを痛感したので、消防団として、こうした知識を習得し、地域の方と共有、意識統一をしていきたいと思っています。

また、リスコムコミュニケーターの長谷川祐子氏から「アメリカでの危機管理」として、幼児への防災教育についてのお話がありました。子供の頃から積極的な危機管理教育を受けることで、いざという時に自己判断をし、危機回避することができるということ。これは、自分たちの活動にも取り入れやすく、重要度が高いと思いました。

## 県立医療大学で団員募集活動実施

当日は、晴天で桜が咲き誇る中での活動でしたが、風が冷たく花冷えのする校内で、のぼり旗でのPRやチラシなどを配布し、大勢の新入生や保護者の方へ入団の働きかけを行いました。

一人でも多くの学生が入団してくれることを期待します。

平成三十一年四月二日(火)に行われた県立医療大学の入学式に阿見町消防団女性部の団員及び阿見町防災危機管理課職員並びに県消防安全課の職員と当協会職員も参加し、消防団員募集の活動を行いました。

三日目には、各班での課題討議の発表があり、全十班の発表内容はどれも素晴らしい内容でした。他の地域での活動や役割、それぞれが抱える問題点について知る良い機会となりました。

三日間の研修を終え、女性消防団としての自覚が強くなりました。今回の研修で学んだことを今後の活動に生かすとともに、防災減災への知識や技術を習得し、地域に密着した活動をしていきたいと思っています。

最後になりますが、このような貴重な研修を受ける機会を与えていただけましたこと、感謝いたします。ありがとうございました。

**オリジナルTシャツ**  
**アポロキャップ**  
**徽章類**  
**消防グッズ各種**

茨城県マスコット ハッスル黄門

ハッスル黄門ストラップ取扱店

**水戸スポーツ株式会社**

水戸市袴塚1-1-2  
TEL029[224]3450 FAX029[224]3430

**編集後記**

発行にあたり、消防団幹部候補中央特別研修について、ご寄稿いただきましたかすみがうら市消防団員塚様、潮来市消防団兼平様にお礼申し上げます。(一)



募集活動

全国シェアNo.1の消防車メーカー  
**(株)モリタの各種消防自動車**  
常に最新技術を反映して様々な災害現場で活躍する消防車を制作します。

その他の取扱品目  
小型動力消防ポンプ・消防用ホース  
救助資機材・潜水機材・消防用被服  
防災用品・消防用品・消防資機材

**茨城県代理店**  
**有限会社 鈴 機**

〒315-0014 石岡市国府5-2-25  
TEL:0299-22-3010 FAX:0299-22-5846

**Panasonic**

自動火災報知設備  
非常電源設備  
自家発電設備  
CVCF設備  
FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店  
**株式会社入江電機工業所**

本社 〒310-0031 水戸市大工町2丁目3番23号  
TEL.029-224-4614(代表)  
FAX.029-224-4613

千波営業所 〒310-0851 水戸市千波町海道付2027番地  
TEL.029-241-3636(代表)  
FAX.029-244-0540

土浦営業所 〒300-0061 土浦市並木1丁目2番20号  
TEL.029-821-8498(代表)  
FAX.029-822-6575

**トーハツ** 小型 消防 **ポンプ**

充実のVシリーズ

V75ESからV10Fまで  
豊富な機種でお客さまのご要望にお応えいたします。

消防ポンプ自動車 消防用ホース  
消火器 消防服装  
消防資機材用品一式

茨城県代理店  
**トキワ産業株式会社**

水戸市三の丸3丁目7番1号  
TEL.029(224)3324代 FAX.029(224)3360